

第81回 通常総会 藏内会長挨拶

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫



第81回通常総会開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、全国の地方獣医師会の代表者の皆様、また、公務ご多忙にも関わらず、多くの来賓の方々にもご臨席をいただきました。農林水産大臣 坂本哲志先生、自由民主党獣医師問題議員連盟副会長 衆議院議員 山口俊一先生、参議院自由民主党幹事長 自由民主党ワンヘルス推進議員連盟会長代理 松山政司先生、犬猫の殺処分ゼロをめざす動物愛護議員連盟会長 衆議院議員 逢沢一郎先生そして参議院議員の有村治子先生、片山さつき先生、古川俊治先生をはじめ、多くの国会議員の先生方、また公明党獣医師・動物看護師議員懇話会幹事長 衆議院議員 中野洋昌先生、さらに関係省庁から、環境省自然環境局長 白石隆夫様、厚生労働省大臣官房審議官 鳥井陽一様、文部科学省大臣官房審議官 奥野 真様、そして関係団体から公益社団法人中央畜産会専務理事 近藤康二様はじめ多くの方々にご出席をいただきました。日頃、私ども日本獣医師会に対しまして、ご厚情賜っておりますことに、改めて厚くお礼を申し上げます。ありがとうございます。

未曾有の被害をもたらした能登半島地震の発生から6カ月を迎えます。震災による被災で亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に改めてお見舞いを申し上げます。日本獣医師会は発災当日、緊急対策本部を設置し、石川県獣医師会が立ち上げた現地動物対策本部と連携してこれまで被災動物の救護や、一時預かり、支援金の募集など被災地支援活動に取り組んできたところです。

すでに発災から半年を経過し、今後の活動に一定の目途が立ったことから、今月末で支援対応をひと区切りとさせていただきたいと考えております。これまで地方獣医師会及び会員構成獣医師をはじめ、関係省庁、団体・企業の皆様から多大なるご支援に対し、心から厚くお礼を申し上げる次第です。

さて、われわれ獣医師はこれまで以上に地球規模での広範な視点を持って、医師や環境の専門家とともにワンヘルス活動の中心的な役割を担い、さらなる社会貢献に尽力する必要があるとの強い思いを胸に、私は2024年の世界獣医師会（WVA）次期会長選挙に立候補いたしました。おかげさまで当選を果たすことができ、4月16日に南アフリカで開催されたWVA総会において、正式に次期会長に選ばれました。皆様から賜りましたご支援に、改めて心から厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

このWVA総会でのガラディナーにおきまして、各国の代表と懇談する中で、獣医師が国境の垣根を越えてワンヘルスに主導的に取り組み、人類への貢献に努めることが重要であり、さらなる獣医師の社会的地位の向上に繋げたい旨、所信を表明したところ参加者から賛同の声をいただくことができました。そのために、世界中の獣医師が一堂に会し、ワンヘルスの実践活動の取組推進を決定する機会として、2026年第41回世界獣医師会大会を日本で31年ぶりに東京で開催することとし、準備を進めているところであります。皆様方のご理解ご支援をよろしく申し上げます。

一方、販売用犬猫のマイクロチップの登録制度に関わる課題につきましては、本年4月1日から登録手数料の適正化が図られるとともに、懸案であった法定登録データとAIPOデータの一本化、獣医師による平時の登録情報の検索、所有者の登録変更を確実に実施するためのペットショップ等譲渡人への変更登録義務化についても、環境省と連携をしつつ、検討を進めているところです。

さらに、厚生労働省におかれましては、武見敬三厚生労働大臣のご指示により、狂犬病予防法に基づく犬の登録手続きと注射済票の交付手続き、ワクチン未接種犬への催促通知等のDX（デジタルトランスフォーメーション）化に向けたシステム整備についてご提案をいただき、その実現に向け、同省と検討を進めているところです。

今後とも、国民のニーズに応える制度の再構築とともに、地方獣医師会会員構成獣医師にとって有用な事業となりますように努力をしてまいります。

また、豚熱等の家畜伝染病予防対策につきましては協力してまいります。農林水産省におかれましては、これまで産業動物分野の獣医療提供体制の整備等、各種の助成事業を実施していただいております。

さらに、このたび、獣医療法施行規則を改正され、本年4月から獣医師の専門性に関する広告制限の緩和が施行されました。これにより、飼い主は獣医師の専門性情報を入手可能となり、あわせて本会が「認定・専門獣医師協議会」を設置して取り組んでいる各種専門資格制度の確立と、高位平準化に大きく寄与するものであり、心から感謝を申し上げます。

その他、獣医師と愛玩動物看護師によるチーム獣医療の推進、公務員獣医師及び産業動物獣医師の処遇改善、人材確保等の国内対策やアジア地域の獣医師研修事業等を通じた国際貢献など、本会が取り組む課題は山積しております。これらの諸課題につきましては、公益社団法人としての社会貢献を念頭に獣医師に対するさまざまな社会的要請に応えつつ、日本獣医師会と地方獣医師会が一体となって、解決に向け尽力する必要がありますので、本日ご出席の皆様方におかれましても、何卒よろしくお願いを申し上げます。

さらに、本日の課題の中で、決算についてご報告させていただきますが、昨年度の決算においては大きな支出超過となりました。監事からの決算監査講評においても、経費節減と実施事業の見直し、魅力ある学会活動等、会員構成獣医師の入会促進への取組み推進それらを担う事務局組織体制のあり方についてもご提言をいただいたところです。

これらの提言、さらには今後のわれわれを取り巻く状況を注視しながら、今後10年間の事業展開等の長期的な展望を見据えつつ、可及的速やかに事務・事業の見直し、組織運営に関わる課題解決により、本会財政の健全化に努めてまいります。

本総会においては、昨年度の事業報告及び決算、さらには本年度の予算及び事業計画さらに役員を選任等重要な議案を上程しております。本日の議論により、今後の日本獣医師会の活動を一層活発で意義あるものとしていきたいと考えておりますので、ご出席の皆様方には忌憚のないご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。